

「新しい前進」

会長 三品 優次



TAKIKAWA ROTARY CLUB

今日は 第2898回 例会
プログラム
ガバナー公式訪問
No.2725 10月30日(木)

次週以降の予定
11月6日(木) 講師例会
11月13日(木) 二世古からnisekoへ
11月20日(木) ゲスト卓話

第2897回 例会報告

2014年 10月23日(木)

会長挨拶・報告



今日は二十四節気の霜降(そうこう)で霜が降りる時期です。今朝はこの秋初めて気温が氷点下になりました。職業奉仕の10月ですがロータリーでは奉仕の理想の哲学を自己の職業に適用し、他人のために論理に適った職業を営むために自己と自己の企業の論理性を高め、企業の信用を高めていくことが企業の安定的かつ永続的な利潤を確保することにつながると言われています。このことは日本で昔から言われている「三方よし」の近江商人道から分かります。近江商人の「三方よし」は中村(治兵衛)家(1754年)の家訓が源流だと言われています。商いの基本は売り手・買い手双方の満足のほかに「世間よし」としてその取引が世間に認められなければ社会全体の幸福につながらない、すなわち「三方よし」が商売の秘訣であり、この事が行商人の中で「信用」という目に見えない財産となり家業を未来永劫に存続させるとしました。中村家のもう一つの家訓は「自分のことだけ考えて一挙に高い収益を望まず、損得は天道の恵み次第である」と思い定め、ひたすら人様のお役に立つことのみ心がけよ」と言っています。また西川(甚五郎)家の家訓では「いつも薄い口銭を心がけ、たとえ品薄の時期であろうとも余分な口銭は取らず、何事であれ世間の害になることをしてはならない」と言っています。彼らの商人道は社会貢献や事業活動の中に社会をより良くする方法を組み入れることにより企業の社会的責任を果たそうとしています。これがロータリーの職業理念と共通していると感じました。

幹事報告



- ①砂川RCより11月の例会プログラムが届いています。
- ②冬の交通安全街頭啓発の参加依頼がありました。11月11日(火)午前7時50分~8時10分まで。場所は北洋銀行滝川支店前・江部乙12丁目交差点・川口時計店前・12号線1丁目交差点です。時間等ご都合のつく方はご参加お願い致します。
- ③次週30日はガバナー公式訪問例会です。11時からはクラブ協議会が開催されます。入会3年未満の会員は義務出席です。ネクタイ着用・バッジも付けてください。
- ④本日例会終了後、臨時理事会を開催します。

伝達式

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
山根 英治 会員(2回目)
松橋 和博 会員(1回目)



先週のプログラム

《国際奉仕委員会担当例会》
~ゲスト卓話~

「滝川市の国際交流事業への理解」



小嶋 俊明 国際奉仕委員会委員長
「サエン バイノー」モンゴル語で「こんにちは」です。本日は『滝川国際交流協会』の事業を紹介いたします。本年はモンゴルから研修員を5名受け入れています。本日はこの5名の研修員をお招きして卓話をしていただきます。その前にモンゴルをご紹介します。1992年モンゴル国に国名を改め、資本主義国家になりました。面積は日本の4倍、人口は約290万人です。首都はウランバートル、夏は40℃冬には-30℃となる厳しい気候です。日本との交流は何と言っても大相撲です。秋場所では幕内力士42名のうちモンゴル出身力士は白鵬はじめ13名です。



川口 義弘 滝川国際交流協会会長
交流協会は1990年の発足以来今日まで、受け入れた国は約80カ国人数は千名を超えました。永きに渡り市民の皆様は深く理解して頂きご協力頂いているおかげと感謝いたします。これからも宜しくお願い致します。



江上 充明 滝川国際交流協会事務局長
モンゴル国からの農業研修員を受け入れることになったのは、平成24年まで3年間滝川市の観光大使を勤めていた第69代横綱白鵬関がモンゴル国の農業技術の向上を熱望し、当協会に協力を依頼したことがきっかけです。(財)自治体国際化協会が実施する自治体職員協力交流事業を活用して、

寒冷地のモンゴルでも応用できる農業の様々な知識と技術を習得する研修機会提供し、人材育成をはかっています。

－研究生の紹介・抱負等発表－



ナンザド・ガンチメグ 滝川国際交流員
滝川に来て4年、2年前にはこの例会でモンゴルの事をお話しました。今日はモンゴルから5名の研修員が来ますのでモンゴルの紹介をしてもらいます。



ボルドバートル・ウンドラハ 研修員
トゥブ県出身
モンゴル国はアメリカではなくアジアにあります。日本で有名なモンゴル人は朝青龍・白鵬・日馬富士・鶴竜の横綱です。面積は日本の4倍人口は290万人、首都はウランバートルで人口は札幌と同じ。最近では経済が急成長しています。それを支えているのが鉱業・農業・建築業・観光の4つです。①鉱業の地下資源は豊富で金・銀・銅・石炭・ウランなど世界の上位です。②農業は麦・野菜・ジャガイモ・菜種・家畜の飼料です。家畜は4500万頭で遊牧民の作る乳製品はミルク・ヨーグルト・アーロール(ヨーグルトの固まり)馬乳酒(アルコール3%)です。③建築業は最も重要な産業で近代化が急速に進み、海外からの企業も多く参入しています。④観光は広々とした草原が人気です。去年は海外から62万人の観光客が訪れそのうち日本人は1万3千人です。皆さんも是非モンゴルに来てください。



レンツェンドルジ ソヨルマー 研修員
トゥブ県出身



ツェベルダンバ ドルガルドゥラム 研修員
ウブルハンガイ県出身



ウルジーバド ゾルバヤル 研修員
ウブルハンガイ県出身



ドルジン ヤンジンドゥラム 研修員
ウブルハンガイ県出身

私たちは農業研修に滝川市に来ました。日本の高等な技術やモンゴルには無い野菜の栽培方法を研修しました。特に稲作栽培の技術を学びました。帰国後はその普及に努めたいと思います。また滝川は気候もモンゴルに似ていてとても快適に過ごすことができました。皆様ありがとうございました。



感謝の気持ちを込めて歌を歌います。故郷を歌ったモンゴルの民謡です。



◎お土産 モンゴル料理
『ボース』
牛肉と羊肉を岩塩で混ぜ込んだ子?ガンチメグさんのご主人(「ゴビ」オーナー)作

ニコニコBOX

三品 優次会員
大勢のゲストの皆様有難うございました。
宇山 昌宏会員
佐藤会員の体育協会会長就任コンペで賞品が当たって。今後の活躍を祈っています。又、西村先生からも賞品を頂いて。
吉田 正治会員
地区大会で表彰を受けて。
坂本 和繁会員
6クラブコンペで団体優勝に貢献して。
松橋 和博会員
マルチプル・ポール・ハリス・フェローの表彰を受けて。
山崎 修会員
太郎吉蔵 津留崎さんチェロ・ピアノコンサート大盛況で終えて。ありがとうございます。
川口 義弘会員
滝川国際交流協会のお話を聞いていただいて。
近藤 正孝会員
研究生の方々が楽しい思い出を持ってモンゴルに帰ってください。
小嶋 俊明会員
担当例会を終えて。ほっとしました。
松原 章会員
担当例会を無事終えて。6人目の孫が生まれて。

会長／三品 優次
幹事／深澤 和範
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30
例会場●ホテルスエヒロ
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
TEL(0125)22-3344
FAX(0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。